

## R5年度 美術館評価調書

### A 優れた作品の収集と適切な保管

三岸好太郎美術館

#### 【基本的運営方針】

三岸好太郎美術館においては、三岸好太郎の作品や資料などを収集・保存します。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
優れたコレクションの形成	●三岸家からの220点の作品寄贈(1967年)を出発点として、美術館にふさわしい作品の収集を進めてきた収集活動の成果と課題を踏まえ、第四期北海道立美術館等作品収蔵計画に基づき、三岸好太郎の作品や資料の収集に取り組み、三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年である本年にふさわしい収集を検討します。	札幌出身の三段跳び金メダリスト・南部忠平の雄姿を描いた、三岸好太郎《南部の跳躍》(1932年、水彩、コンテ・紙。41.8×29.2cm)を、遺族から受託し、コレクションの充実を図りました。
所蔵作品の適切な保管	●作品や資料の展示・保存環境を適切な状態に保持するとともに、作品の状態・保管状況を適宜点検して、必要に応じて適切な修復や、保管状況の改善に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の額のガラスを低反射タイプに交換。R5は1点取付。(「大通公園」)</li> <li>・素描作品の額の裏板との間に入れる間紙を、順次中性紙に交換しました(R5は24点交換)。</li> <li>・展示室、収蔵庫等の室温、湿度について、設備管理委託業者と連携を図り常に適切な保管環境維持に努めました。</li> <li>・虫害対策としてトラップを設置し、発生状況をモニタリングしました。</li> </ul>
コレクションの効果的な活用	●「所蔵品展」「特別展」でのコレクション紹介において、調査研究の進展を踏まえつつ、各テーマに即して多彩多様な作品展示となるよう工夫し、保存面にも配慮した効果的な活用に取り組み続けます。	「所蔵品展プレミアム おばけのマールとたからもの」展では、「おばけのマール」の絵本原画と当館のコレクションを合わせて展示することにより、幅広い世代に親しんでもらえる展示内容としました。特別展「三岸好太郎再発見!」では、これまで注目されてこなかった好太郎のトラピスト修道院訪問をとりあげ、好太郎のエキゾチック趣味の新たな側面に光を当てました。

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]				今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)	設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価 成果・課題		総合評価
優れたコレクションの形成	収集方針に基づく収集活動 [定性]	—	—	—	—	—	①	b 【成果】 ・作品所有者の了解を得て三岸好太郎作品を1点受託し、コレクションの充実を図ることができた。	B	左記の取組成果を踏まえ、今後も継続して詳細画像のデジタル化や作品の適切な保管に向けた取組を進める。
所蔵作品の適切な保管	所蔵品データベースの整備率	100%	100%	IBミュージアム登録・画像情報等公開済	100.0%	100.0%	①	a 【成果】 ・所蔵作品は全てデータベース(サムネイル画像)登録済であり、高精細デジタル撮影を今年度は33点撮影した。 ・低反射アクリルは1点、間紙交換は30点、予算の範囲内で導入することができた。 【課題】 ・当館は外光が入る設計のため、低反射に加え、UVカット性能のあるアクリルの導入が今後の課題。		
	適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復 [定性]	—	—	—	—	—	①	b 【成果】 ・展示方法の工夫や作家の新しい側面の紹介などにより来館者の高い満足度を得ることができた。		
コレクションの効果的な活用	コレクションの活用の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b		

## R5年度 美術館評価調書

三岸好太郎美術館

### B 多彩で特色ある展示活動の充実

#### 【基本的運営方針】

三岸好太郎美術館においては、三岸コレクションを系統的に紹介する「所蔵品展」や多彩なテーマによる特別展を開催します。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
多様なニーズに応える展示会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三岸好太郎の芸術を多様な観点からとらえる「所蔵品展」および「特別展」などを開催します。</li> <li>・「所蔵品展」(年3回)では、三岸の画業をたどりつつ、その作品の魅力をより深く紹介する「道産子が行く。」「恋する画家の陶酔ざんまい」のほか、札幌発の人気絵本の主人公〈おばけのマール〉の新作と関連した展示を楽しく鑑賞する「おばけのマールとたからもの」を開催します。</li> <li>・「特別展」(年1回)では、三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年である本年にふさわしい企画として「三岸好太郎再発見！」を開催し、三岸の画業と芸術の特質をあらたな視点からあらためて探ります。</li> <li>・AGH(アートギャラリー北海道)事業として、北海道ゆかりの若手美術家を紹介する企画「#みまのめ」の第9回展を開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵品展として、「道産子が行く。」(4/29-7/5)、「おばけのマールとたからもの」(7/15-9/26)、「恋する画家の陶酔ざんまい」(12/16-4/18)を開催。</li> <li>・特別展として、「三岸好太郎再発見！」(10/7-12/5)を開催。</li> <li>・AGH事業として、「#みまのめVOL.9」(12/16-2/25)を開催。</li> </ul>
観覧者拡充のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各企画テーマにも沿った展示方法や解説パネル等の工夫に取り組み、作品の魅力をさらに引き出して、理解と観覧の質を高めるとともに、コレクション以外の三岸作品や他作家の作品などの展示(特別展、マール、みまのめ等)により、観覧者層の幅を広げ、美術館への注目度を高めます。</li> </ul>	<p>所蔵品展プレミアム「おばけのマールとたからもの」展では、おばけのマールの絵本原画を借用して、絵本テキストをキャプションとしてつけたり、絵本のキャラクターのパネルを天井から吊り下げるなどの方法により、展示室にいながら絵本の世界に入り込めるような工夫をしました。特別展では、三岸好太郎がトラビスト修道院から木靴(サボ)をお土産にもらったことにちなみ、トラビスト又修道院に残る厳律シトー会(サボ)の伝統的な木靴(サボ)を拝借して展示し、展示会の内容を充実させました。「みまのめ」展では、作者が所蔵する近作や新作を展示することにより、北海道の若手作家のフレッシュな表現を紹介し、特に高大生層の観覧者増を図りました。</p>
館外における鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)においても三岸作品を展示するほか、道内外の美術館等からの貸出希望にも適宜応じ、三岸好太郎の魅力を館外に広く紹介して、三岸と美術館への親しみを増すことに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)令和5年3月17日～令和6年3月14日において4点の作品を順次展示。(《鎌倉風景》(3/17-6/15)、《花》(6/16-9/14)、《風景》(9/15-12/14)、《貝殻と蝶》(12/15-3/14))</li> <li>・北海道立帯広美術館「見えない音を描く」展(7/15-8/20)：《黄服少女》</li> <li>・釧路美術館「かもめのももちゃんとCats&amp;Dogs」展(9/16-11/26)：《ラケットを持つ少年と少女と犬》《黄八丈の男》</li> <li>・国立アイヌ博物館「ミナ ミナ 『おばけのマールとすてきなことば』」展(3/16-5/12)：《赤い肩かけの婦人像》《猫》</li> </ul>

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]				評価 [CHECK]				今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)	設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
								成果・課題			
多様なニーズに応える展示会の開催	展示会の観覧者数(※展示会毎の内訳は下表のとおり)	9,221人	10,801人	過去5年間の最高値(道単展)	12,001人	111.1%	①	a	【成果】 コロナが5類とされたことに伴い、来館者数が増加し、特に「おばけのマールとたからもの」展では多くの観覧者があった。来館者アンケートでは展示会の内容について高い評価を得た。	B	引き続き三岸好太郎の芸術を多様な観点から紹介する展示会を開催するとともに、リピーターや児童生徒の観覧の増加に向けて近隣の小・中・高校等へ個別訪問するなどの働きかけを行う。
	観覧者の満足度	93.0%	96.1%	過去5年間の最高値	96.2%	100.1%	①				
観覧者拡充のための工夫	観覧者に占めるリピーターの割合	36.0%	46.0%	過去5年間の最高値	39.4%	85.7%	③	c	【成果】 リピーター、児童生徒の数は昨年度より増加した。 【課題】 リピーターや児童生徒の利用増加を図るため、観覧者の再来館を促す働きかけや学校での教育活動に美術館を活用してもらう取り組みが必要。		
	観覧者に占める児童生徒の割合	6.9%	15.8%	過去5年間の最高値	10.3%	65.2%	④				
	展示の企画構成やPR等の工夫[定性]	-	-	-	-	-	①				
館外における鑑賞機会の提供	館外における展示活動の状況[定性]	-	-	-	-	-	①	a	【成果】ミギシサテライトなど館外展示により広く三岸作品に触れる機会を提供できた。		

#### 【展示会開催状況】

区分	展示会名	計 画				実 績				特記事項	
		会期	開催日数	観覧者見込数(うち児童生徒)	1日当たり観覧者数	会期	開催日数	観覧者見込数(うち児童生徒)	1日当たり観覧者数		
常設展	デコボコンポジション	4/7~4/18	10	400 ( 63 )	40	4/7~4/18	10	360 ( 12 )	36		
	道産子が行く。	4/29~7/5	58	2,320 ( 367 )	40	4/29~7/5	58	2,763 ( 302 )	48		
	おばけのマールとたからもの	7/15~9/26	63	2,520 ( 398 )	40	7/15~9/26	63	4,362 ( 602 )	69		
	恋する画家の陶酔ざんまい	12/16~4月上旬	81	3,240 ( 512 )	40	12/16~3/28	80	2,624 ( 233 )	33	1/8臨時休館	
	常設展計	-	212	8,480 ( 1,340 )	-	-	211	10,109 ( 1,149 )	48		
特別展	館単独主催展	三岸好太郎再発見!	10/7~12/5	52	2,321 ( 367 )	45	10/7~12/5	52	1,892 ( 86 )	36	
	実行委員会展			( )				( )			
	貸館展			( )				( )			
	特別展計	-	52	2,321 ( 367 )	-	-	52	1,892 ( 86 )	36		
合 計	-	264	10,801 ( 1,707 )	-	-	263	12,001 ( 1,235 )	46			

# R5年度 美術館評価調書

## C 学習の場と情報提供の充実

三岸好太郎美術館

### 【基本的運営方針】

展覧会事業やコレクションと関連したさまざまな教育普及活動を実施するとともに、子どもを対象とした多彩な教育事業の充実を図ります。  
また、地域の人々の知的欲求を満たす学習の場を提供するとともに、美術についての情報を幅広く提供します。

### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三岸好太郎の芸術により親しみ、楽しみ、理解し、鑑賞の質を高めるような教育普及活動を検討します。</li> <li>・学芸員によるトークなど、展示（所蔵品展・特別展）と結びつけた解説活動を行うほか、ボランティアと連携した所蔵品展展示解説の実施に取り組みます。</li> <li>・「#みまのめ」展での、出品作家によるトークやインタビューに取り組みます。</li> <li>・夏休み・冬休み時期には、展示内容に合わせた子ども向けのプログラムの実施を検討します。</li> <li>・展覧会のテーマや三岸好太郎作品等に関連した事業（講演、講座、展示室での音楽会等）の適切な実施について検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員によるギャラリー・トークの実施。(10回)</li> <li>・ボランティア解説員による展示解説の実施。(13:00-15:00、日・祝を除く)</li> <li>・#みまのめVOL.9出品作家によるアーティスト・トークの実施。(3回)</li> <li>・夏休み・冬休み時期に子ども向けプログラム「たんけん美術館」を実施。</li> <li>・開館記念日(7/1)、道みんの日(7/17)、カルチャーナイト(7/19)などの無料開放の機会にあわせて、ギャラリー・ツアーやグッズ・プレゼントなど、多彩なプログラムを用意し、来館者の満足度を高める工夫をしました。</li> <li>・三岸好太郎の孫2名を講師に招き、ギャラリー・トーク及び美術講演会を実施。(10/28、11/5)</li> <li>・マール記念日に読み聞かせ付きコンサート、芸術週間にバル・ミュゼットのミュージアムコンサートを実施。(8/5、11/3)</li> <li>・シモモトヒデノリ氏に協力いただき、折り紙建築のワークショップを実施。(10/7-2/25)</li> </ul>
情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三岸好太郎や美術館の活動に関する情報提供の充実に取り組みます。</li> <li>・展示室内図書コーナーで、三岸好太郎に関する主要文献図書や関連図書等を閲覧に供します。</li> <li>・美術館の活動や事業について、ホームページや印刷媒体等による時宜を得た情報発信を行います。</li> <li>・コレクションデータベースを整備し、全所蔵作品のデータ公開を実施するほか、ホームページ及び外部リンク（文化遺産オンライン等）で主要作品の解説を含んだ作品情報を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室内図書コーナーにおいて、三岸好太郎の画集、書籍、開催展覧会図録、紀要、年報、美術館報、その他関連図書・文献資料などを閲覧に供したほか、三岸アトリエやミギシサテライトの解説文を設置するなど情報提供を行った。</li> <li>・美術館ホームページにおいて、展覧会情報や各種イベント情報について情報発信を行った。</li> <li>・SNSを活用し、展覧会情報や各種イベント情報、美術館の施設情報などについて頻度を高く発信した。</li> <li>・ホームページ及び外部リンク（文化遺産オンライン等）で主要作品の解説を含んだ作品情報を提供した。</li> </ul>

### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
			設定の考え方					成果・課題			
教育普及活動の充実	教育普及プログラムの実施件数	21	11	年度計画から算出	31	281.8%	①	a	【成果】 ・新型コロナウイルス収束後、ほぼ例年並みの教育普及活動を再開することができ、多くの来館者がプログラムに参加し、好評を得ることができた。	B	引き続き教育普及活動を充実させ、子どもを対象とした事業や地域の人々の学習の場を提供する。 図書・資料コーナーやHPなど情報発信の方法について工夫し、利用促進を図る。
	教育普及プログラムの参加者数	612	330	年度計画から算出	2,299	696.7%	①				
	教育普及プログラムの企画・実施状況 [定性]	-	-	-	-	-	①				
情報提供の充実	ARS、図書コーナーの利用件数	1,127	4,470	過去5年間の最高値	1,038	23.2%	④	d	【成果】 ・SNSを活用した情報発信については、各展覧会やイベントなどを捉えて積極的に行い、フォロワー数の増加につながった。 ・ホームページの展覧会情報の多言語化について、英語のみだが展覧会に合わせて更新することができた。 【課題】 ・図書・資料コーナーについて、利用者の増加に向けた取組が必要。 ・HP閲覧数は前年と比較し大きく伸びたが、発信内容の充実や閲覧者が見やすいホームページの体裁を工夫する必要がある。	B	引き続き教育普及活動を充実させ、子どもを対象とした事業や地域の人々の学習の場を提供する。 図書・資料コーナーやHPなど情報発信の方法について工夫し、利用促進を図る。
	利用しやすい図書・資料コーナーの整備 [定性]	-	-	-	-	-	②				
	HPアクセス件数	89,032	163,994	過去5年間の最高値	125,369	76.4%	④				
	SNSの投稿数	128	41	4展覧会×3、行う14、普及事業等25	335	817.1%	①				
	リモートミュージアムの公開件数	0	1	運営計画による	0	0.0%	④				
情報発信の工夫改善 [定性]	-	-	-	-	-	②					



## R5年度 美術館評価調書

### E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

三岸好太郎美術館

#### 【基本的運営方針】

地域の文化活動や学校の教育活動と連携・協力することで、美術に対する関心の向上と美術館の利用を促進を図り、地域の文化振興に努めます。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
多様な機関との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道美術館協会や美術館ボランティアの活動に協力する取り組みを継続します。</li> <li>●地域と関わりを持つ企画を推進し、地域の人々の関心を高めることに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道美術館協会と連携し、ボランティア解説員による展示解説を実施した。</li> <li>・北海道美術館協会が主催する美術講座参加者に対する展示室利用。</li> <li>・北海道美術館協会が主催する研修会(特別オリエンテーション)に対する講師派遣。</li> <li>・北菓楼札幌本館及び三岸好太郎美術館後援会と連携し、来館者にスイーツ交換券を配布。美術館から北菓楼札幌本館へ人の流れを創出。</li> <li>・#みまのめVOL.9開催により北海道ゆかりの若手作家の表現活動を紹介した。</li> <li>・#みまのめVOL.9出品作家によるアーティスト・トークの実施。(3回)(再掲)</li> <li>・マール記念日に読み聞かせ付きコンサート、芸術週間にバル・ミュゼットのミュージアムコンサートを実施。(8/5、11/3)(再掲)</li> </ul>
学校等の教育機関との連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近代美術館と連携して「オンラインアート教室」「指導者研修」「博物館実習」などに取り組むほか、地域の学校からの要請による「館外講座」実施や、児童生徒の自主研修や体験学習等への対応を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余市養護学校高等部の生徒が参加し、当館学芸員が講師として、教室と美術館をオンラインで繋いだ鑑賞授業「オンラインアート教室」を実施した。</li> <li>・道立近代美術館博物館実習のプログラム「三岸好太郎美術館の施設・展覧会見学」において、実習生を受け入れ当館学芸員による説明を行った。</li> <li>・道立近代美術館指導者研修のプログラム「三岸好太郎美術館等見学」において、研修生を受け入れ当館学芸員による説明を行った。</li> <li>・札幌市立北九条小学校の依頼により、3年生を対象に当館学芸員による出前授業を実施した。</li> </ul>

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
			設定の考え方	成果・課題							
多様な機関との連携・協力	地域の団体やイベント等と連携した取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ・開館記念日に北菓楼札幌本館及び美術館後援会と連携した取組を行い、美術館や連携施設のPRとともに人の流れを作ることができた。 ・北海道にゆかりのある若い作家の創作活動を紹介し、AGH事業の趣旨に資することができた。 ・美術館協会と連携し、ボランティア解説員による展示解説など観覧者へのサービス向上を図ることができた。 【課題】 ・今後、連携する施設、団体などを広げていくことが課題。	B	現在連携している施設等と引き続き協力しながら事業を展開するとともに、今後さらに地域の様々な団体と連携した取組を充実させる。また、オンラインを活用した学校との連携事業のほか、出前講座など鑑賞事業の充実を図る。
	企業や団体等と連携したPR活動 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	道内美術館等との連携・協力の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	ボランティアとの連携・協力の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
学校等の教育機関との連携・支援	学校教育と連携した取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	c	【成果】 ・各学校の授業内容に応じて学芸員が展示内容について詳しく説明するなど連携を図った。 ・オンラインを活用した鑑賞事業の実施により美術作品に触れる機会の少ない子どもたちに鑑賞機会を提供することができた。 【課題】 ・近美との連携を一層深めるなど、鑑賞授業や教員対象研修の充実を図る。	B	現在連携している施設等と引き続き協力しながら事業を展開するとともに、今後さらに地域の様々な団体と連携した取組を充実させる。また、オンラインを活用した学校との連携事業のほか、出前講座など鑑賞事業の充実を図る。
	児童生徒向け鑑賞教室(オンラインを含む)の実施件数	6	4	過去5年間平均値	3	75.0%	④				
	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	1	1	近美に準ずる	0	0.0%	④				
	教員を対象とした研修の実施状況 [定性]	—	—	—	—	—	②				

## R5年度 美術館評価調書

### F 安全で快適な滞在環境の提供

三岸好太郎美術館

#### 【基本的運営方針】

近代美術館、三岸好太郎美術館ともに芸術文化に触れる場所にふさわしい落ちついて趣のある環境の整備に努めます。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美術館施設の安全性の確保を図るため、定期検査等で常に施設設備の機能や安全性を点検するとともに、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対して速やかに修繕又は改修を行うなど、適切に施設を管理します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期検査等で常に施設設備の機能や安全性を点検し、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対して速やかに修繕又は改修を行った。</li> <li>・展示室内に漏水が発生したが、館職員が設備運転保守管理者や工事業者と連携を図り適切に対応した。</li> <li>・水道管破損に伴う漏水が発生したが、臨時休館にするとともに、工事業者と連携を図り適切に対応した。</li> </ul>
施設の快適性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知事公館の庭園内という立地環境、三岸好太郎のアトリエのイメージを採り入れた建築設計や、美術館の特色（500㎡という小規模ながら変化に富む空間、大きなガラス窓からの採光にも工夫した照明、吹き抜けの空間を持つ展示室やロビー、静かで落ち着いた雰囲気等）を活かした事業運営を工夫し、観覧者が心地よく鑑賞の時間を過ごせるよう、良好な滞在環境を提供します。</li> <li>●外国人を含めた来館者への接客内容の向上や、館内設備等の安全性と利用の快適さの保持に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付・監視等委託業者による丁寧な接客対応を実施した。</li> <li>・館職員、警備、受付・監視、設備運転管理保の各委託業者、カフェ・売店事業者がそれぞれ連携を図り、良好な滞在空間の維持・提供に努めた。</li> </ul>

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
			設定の考え方							成果・課題	
施設の適切な維持管理	施設の安全性確保のための必要な措置の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	<b>【成果】</b> ・漏水事故があったが関係者と連携を図り適切に対応することができた。 <b>【課題】</b> ・設の老朽化に伴い突発的な不具合が生じることが予想される。	A	引き続き施設の不具合に迅速かつ適切に対応するとともに、委託業者等と連携を図りながら良好な滞在空間の提供に努める。
	誰もが安心して利用できる施設設備の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
施設の快適性の向上	鑑賞環境に対する満足度	95.0%	96.4%	過去5年間最高値 (R3)	95.0%	98.5%	①	a	<b>【成果】</b> ・鑑賞環境やショップ、スタッフの接客等について来館者から高い満足度を得ることができた。 <b>【課題】</b> ・老朽化による展示室の壁の劣化などが目立ち始めている。		
	レストラン・喫茶に対する満足度	92.0%	95.5%	過去5年間最高値 (R3)	98.0%	102.6%	①				
	ミュージアムショップに対する満足度	92.0%	95.5%	過去5年間最高値 (R3)	98.0%	102.6%	①				
	ボランティアや事業者と協力してのサービス向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	館内スタッフの対応に対する利用者満足度	94.0%	94.0%	過去5年間最高値 (R4)	97.0%	103.2%	①				
	ホスピタリティー向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				